



KAGAYAKU

かがやく

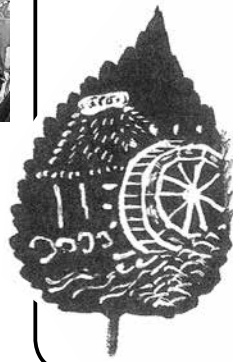
 題字：木版
西野一男さん

48

 生涯学習情報紙：生きがい探しのパートナー
 感動人生！ここに生きる元気な人間と


伝承とは

伝承とは、古いもの・ことを次代に伝えるだけではない。語り伝える、踊り伝える、書き伝えるとは、言葉ではない。かたちではない。単なる文字の羅列ではない。言葉にこめられた血だ。文字に託された祈りだ。流れる血。躍動する魂。未来に捧げる現代の心。それを伝えるのが伝承だ。



文・絵 今坂 柳二

■ふるさと伝承研究会（中央公民館） 少しずつ伝える文字の心

「昔むかし あるところに：」と始まる昔話。そう遠くない昔に、縁側で語る祖母の話は素材であり、ほんわりとした語り口に、心地良さを楽しんだものです。標準語世代となった現在、この地域に、古くから伝わる昔話を伝承している研究会があると知り訪ねました。

公民館の一室では、民話独特の語り口で『ゴロエモ坂』『飛龍神社』を読み上げています。互いに、語り手や聞き手になり、確かめながら理解を深めています。どこかで聞いたことのあるような話と昔言葉に、こそばゆくも懐かしさが感じられ、いろいろな情景が浮かんできます。この日は、監修・指導をされている今坂柳二さん・富田博之さんとみたひろゆきが出席され、その一言一句に皆さんは熱心に聞き入っています。

今坂さんは「未来に捧げる現代の心。それを伝えるのが伝承だ。」と唱えます。そして、古くから伝わる民話を採話し、195話を書き残しています。研究会では、それらをFM茶笛『茶の花村の玉手箱』で紹介しています。また、幅広い年齢層の方々に物語の本質を伝えたいと、学校行事や地域でも活動をしていま

す。「語ると、聞いている人も自分も楽しくなります。」「昔言葉を生かしていきたいです。」「読むというように伝える、そしてシンブルに伝えることが大事。」と話します。

「ちっとんべー（少しだけ）」「ひゃつこい（冷たい）」「あんだんべー（何？）」つい最近まで、あちらこちらで聞かれた言葉ですが、土や風の匂いがして温かさを感じます。これらは、自然や人々の生活に根ざした言葉なのでしょう。今では消えつつある昔言葉。皆さんは、民話の中にある言葉の文化を『ことばの博物館』として、残していくことにも取り組んでいます。民話は、現代にも通じる喜怒哀楽が込められ、その時代の文化や風習を反映しています。人々の心を次の世代に繋いでいく橋渡しなのかもしれません。

研究会は、平成18年に設立され、現在5人で毎月第2木曜日午後15時に活動をしています。（会費月500円）代表の大野さんは、「作品の文字の持つ意味や心を正しく、少しずつ伝えていきたいです。一緒に語り継いでいきませんか。」と呼びかけています。公民館近くの愛宕公園を散策がてら、訪ねてみてはいかがでしょうか。



■英会話同好会（扇町屋公民館）
英会話を学びながら異文化も学習できる

English

「英会話」と聞いて尻込みしない日本人はあまりいないのではないのでしょうか？ひと昔前に例えれば、中学から高校までの実に6年もの間、授業で学習したにも関わらず、英語を話せる人はごくわずかなのが実情です。「自分も英会話を楽しく学べたら・・・」

そんな思いを叶えてくれそうなお話を早速取材に行きました。サークルを早速取材に行きました。お話をしてくれたのは代表の仲内さん。この会が発足したのは20年以上も前です。

生徒さんは40代から70代の男女で構成されていました。「英会話を学びながら異文化も学ぶのですよ。」と仲内さんは言います。教室へ入るととてもフレンドリーな環境で学んでいるのがわかりました。生徒さんがこの一週間の出来事などを英語で伝えた後、カナダ人講師のカート先生はそれに関連した、母国の話やイギリス、アメリカなどの話を盛り込んで説明していました。

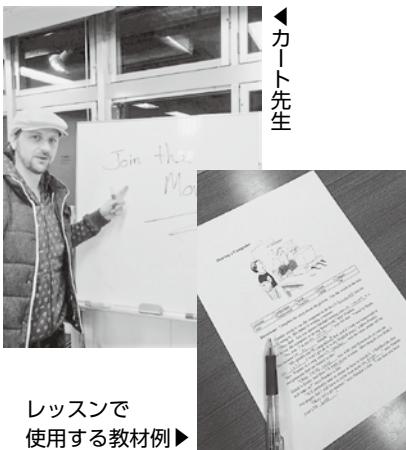
皆さん同じ英会話学習という目的で集まっていますが、個人個人の目標はやはり様々です。「英会話をマスターする事により、人生を変えたたい。」「映画を字幕なしで理解した

い。」「海外旅行をより楽しみたい。」「来る東京オリンピックでボランティア通訳として参加してみたい。」など。

日本で英会話講師として10年ものキャリアがあるカート先生。日本人の英会話ウィークポイントもしっかり把握されているとのこと。

こんな居心地の良い雰囲気の話同好会は、入会金なし、会費は月3000円、現会員は10人。毎週火曜日の18時～20時までレッスンが行われています。現在同好会では一緒に楽しく学ぶ仲間を募集中です。ただし定員は13人となっています。

英語を話せるようになると約14億もの人と話せるとも言われています。この機会にまず一歩踏み出してみてはいかがでしょうか？



◀カート先生

レッスンで使用する教材例▶

■アド・テニスサークル（市内公共テニスコート）
光る汗、明日への健康

木々につつまれ開放的なテニスコートから楽しくプレイする声、ボールの弾む音が聞こえてくる中、訪問しました。

このサークルは入間市テニス協会主催のテニス教室からの希望者を募り、テニスのアドバンテージから、絶えず前を向いて『先行』という意味で『アド・テニスサークル(硬式)』として発足し、24年目の春を迎えます。

現在のメンバーは12人(男8人女4人)平均年齢約60歳、最年長70代後半のメンバーです。日祝日に運動公園、中央公園などで活動しています。



▲試合形式練習

アップ30分、試合形式2～4時間、常時8人程度でアットホームな雰囲気のほか、練習しています。

試合練習においてはペアとの息の合った呼吸で、面はしっかりと、軌道は綺麗な放物線を描くように、相手コートへ打ち返す姿がとても力強いです。決まった際は爽やかな声がコートに広がります。

年齢を感じさせない位フットワークも軽く、若々しい皆さんのお楽

しみとしてコート以外の活動で年1回の秩父での合宿、中央公園のお花見や不定期で親睦会も行っています。



▲ベンチトーク中！

「技術面は中級程度ですが、対外試合への参加はありません。平均年齢の上昇に伴い『寿命』健康年齢を指す為にも私がメンバーへの目配り、気配りをする事が大切です。」と岡会長は語ってくれました。

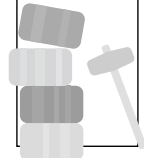
心も身体も健康でプレイ出来る事は本当に幸せなことです。皆さんはテニスとの出会いを感謝し、生き甲斐としています。

会費は半期ごとに5000円(ボール、コート代)です。興味のある方は見学に足を運んでみてはいかがでしょうか？



▲メンバーの皆さん

■人間の木育を考える会
《木育》という言葉を知っていますか？



木育とは単に木が好きなのでなく安心・安全なものを提供しながら、教育的な目的に資する幅広い活動です。その中で『NPO法人芸術と遊び創造協会』の会員で、おもちゃコンサルタントの張替謙一さんに、

木育を『かきくけこ』でまとめると、か環境を守る。
き木の文化を伝える。
く暮らしに木を取り入れる。
け経済を活性化させる。
こ子どもの心を豊かにする。
で表せます。(当協会より抜粋)

優良なおもちゃグッド・トイとは、赤ちゃんの成長・発達との関わり、高齢者のリハビリやヒーリングまで、幅広くその手助けができるおもちゃ類のことです。人は遊びを通して五感を磨き、コミュニケーション能力を養い、夢を育てます。近隣の自治体では『ウッドスタート宣言』(日本グッド・トイ委員会が展開している木育の行動プラン)をして、地産地消の木のおもちゃを新生児にプレゼントしています。また、おもちゃイベント『木育キャラバン』を実施して、住民相互の出会いの場

を作っている所もあります。他方で多彩な木育を地元自治体にも理解と協力が得られるような交流活動も行っています。

これまでの活動実績は、『木育』を考えるための連続講座と『おもちゃの広場』を公民館で4回開催しました。『おもちゃの広場』ではマツトの上におもちゃコンサルタントが選んだグッド・トイなどを広げて、来場した親子にたっぷりと遊んでいただくことができました。

この会では子育てや暮らしの中で木との関わりを考え、活動を通して赤ちゃんから高齢者までの多世代にわたり、暮らしやすく楽しい街づくりを目指しています。

会員数は16人、会費は月額100円、入金金無料です。活動は月1回、公民館等で行っています。お気軽にいつでもお立ち寄りください。お待ちしております。

お持ちして



▲木のおもちゃで遊ぶ



■おかの 岡野 平八さん (新久)
チャチャツと切り絵

新久生まれの新久育ち。御歳81歳の岡野さんは、新久でお茶屋さんを営んでいます。本業はもちろんなこと、趣味にも励む日々です。

まずは切り絵。道具へのこだわりは無く、100均のハサミと広告の紙があれば、いつでもどこでも何でも切り出してしまいます。下絵を描くこともありません。しかも岡野さんのおもしろい語り付きです。取材中にもスイスイと切り出してくださいました。お喋りに惹きつけられている2分ほどの間に「あら、ビックリ！」佐渡おけさで踊る女性の出来上がり。「どういう技かと言いますとね、これが本当のカミワザです。」と岡野さん。



▲取材中もスイスイと

林家二楽さんの紙切りを見たのをきっかけに始め、キャリアは



▲奥様がモデルのフラダンス



▲佐渡おけさの人々

まだ5年ほどですが、お年寄りの施設で披露することも多く、リクエストに応えてどんなものでも切り出します。

切り絵に限らずとても器用な人で、お茶屋さんの店舗にも作品がいっぱいあります。別所温泉のお蕎麦屋さんで見かけた瓦のひさしを、奥様のご要望に応じて作ってしまつた岡野さん。せっかくだから小上がりも。障子の棧はオリジナルのVサインで。



▲障子の棧も手作り！Vサイン

「どんなものでも作ってみます。人に作れりゃ自分も作れる。」と、さすがの一言に感心させられます。手品歴も10年以上。こちらでも、多くの人を楽しませています。やりたいこといっぱい。楽しいこといっぱい。岡野さんのマジックハットから次は何が出てくるのか、ワクワクします。



▲マジックショー





押し花アート 花（二本木公民館）
押し花アートの世界は広い！

花びらだけではなく木の皮も!?どんな材料でも使えて絵になる押し花アート。

大野澄子さんは、『日本ヴォーグ社ふしぎな花倶楽部』のインストラクターをしていました。その頃、お花の好きな人を集めて教えていたのがきっかけで、二本木公民館で教えるようになり18年が経ちました。

採取した花は専用のマットに載せ、重石を置き一週間程度置いて、その後、保管袋に入れ保存します。

公民館の部屋では、生徒さんたちが下絵の上に、ピンセットで摘んだ花びらを貼り付け、形を作っていました。7人の生徒のうち唯一の男性の方は風景画が好きという事で、乾燥させてある木の皮を使って、岩の絵に挑戦していました。

大野先生はこの教室で教えるのは勿論、近くの介護施設の入居者にポランティアで教えに行ったり、文化祭



▲押し花の材料

違った事は教えられないので、自分もしっかり勉強しています。また、お花がない場合は、鉢植えを買ってきて、育て、採取します。」



▲ごぼうの皮を使った作品

生徒さんたちは、「ここに來ると仲間とのコミュニケーションも取るので楽しみます。」「いつも出来上がりを楽しみにしています。」と口を揃えて言っていました。



▲楽しく作業中

と話されました。押し花アートは、見ているだけで癒されるし、人を優しくします。これからも素敵な作品で見る人を和ませてください。活動日は毎月第二・四の火曜日、会費は月1000円。



▲先生と生徒さん



▲お正月の作品

◎生涯学習情報紙「かがやく」
広告募集!!

「かがやく」は年2回発行し、広報いるまとともに全戸配布する生涯学習情報誌です。各種宣伝や募集など、広告を掲載していませんか?

●お気軽にお問い合わせを!
担当：市教育委員会社会教育課
TEL 04-2964-1111(内線4125)

◎編集後記◎

- 風邪対策で撰った栄養はお腹回りに!桜餅の誘惑に負けず今日からメタボ対策!(IS)
- 電子辞書が欲しい。でも費用対効果もなく不便。マイ辞書自作するか。(SK)
- 桜の季節に心機一転。今号よりペンネーム瀧澤枝里にて寄稿します。ワクワク。(TE)
- 宇宙が無限であるように、あらゆる可能性を秘めた、子どもたちの未来もまた無限である。その子なりの個性を引き出す事が出来たら、将来は有望だと思えます。(HT)
- 昨年から何事にもとりあえず一歩踏み出してみるよう心掛けてきました。結果、人生凄く変わりますね。(HN)
- 流れるように過ぎていく月に戸惑いを抱きつつ、ふと思いつき起せば沢山の出来事が積み重なっている事に気づかされます。(MF)



企画編集：「かがやく」編集委員会
発行：人間市教育委員会社会教育課

お問い合わせ
事務局

人間市教育委員会社会教育課
〒358-8511 人間市豊岡 1-16-1
TEL04-2964-1111 (内線4125) FAX04-2964-4841



100

編集委員 (五十音順)

飯島静江 島田耕作 瀧澤枝里 橋本敏子 平野井直人 森田文江

この発行物は
資源の循環を
図るため
紙を
回収
して
出せ
ます